

Press Release

2007 年 3 月 14 日

レジデントエンジニアリング課の設立について

株式会社森精機製作所（以下 森精機）は、3 月 1 日付で、エンジニアリング本部 MTL 部に新たにレジデントエンジニアリング課を設立いたします。課のマネージャーを秀田守弘が務めます。

森精機では、機械を導入したその日から、その機械の動かし方の分かる、機械加工の分かる人材をお客様の工場へ送っています。その中で、引き続き長期に渡ってサポートを欲するお客様に対して、森精機から出向という形で人員を送りだすことができました。現在ではその数は 10 名ほどになっています。お客様のところでお客様と一緒に仕事をする森精機社員です。ワークを見ただけで加工工程が分かり、機械を操作することができるアプリケーションエンジニアです。

これからも同種の要望が増えてくるものと考えられることから、このたび課として組織化し、各課員との連携を密に取っていきます。

この課の活動によるメリットは以下を考えています。

（メリット）

- ・ 直にお客様の現場で一緒になってものづくりを考え、お客様の悩みを汲み取ることで、その内容を森精機の機械にフィードバックすることができます。
- ・ お客様の機械の使い方や、考え方の分かる、真の機械加工プロフェッショナルをお客様と一緒に育てることができます。
- ・ お客様の加工物の工程設計や、他社の納入済み機械において、生産性向上への提案と改善を行うことができます。
- ・ 森精機のもつ最新の工作機械の加工技術を継続して提供し、お客様の生産工程に反映させることができます。
- ・ お客様との関係の深化が図れます。

現在は出向中 10 名に加えて、出向候補者が 10 名います。今後 5 年以内にこの数を 40 名まで増やしたいと考えております。

森精機では当活動を通じてお客様を理解し、またお客様に機械を理解していただき、そこから品質をより向上させることによって、更なる受注へと結び付けていきたいと考えています。

以上